

さくら市バイオマス産業都市構想の概要

栃木県さくら市、人口 約4.4万人、面積 約126km²

構想の概要

地域資源であるバイオマス、特に草本系バイオマスのエリアンサスを活用した、再生エネルギーの利用促進により、耕作放棄地(荒廃農地)の対策や農業の活性化、産業振興と雇用の創出を図り、環境にやさしく災害に強い、地域資源循環型社会の構築を目指す

1. 将来像

- ①エリアンサスを耕作放棄地(荒廃農地)に栽培し、耕作放棄の対策やエネルギー供給の確立化
- ②再生エネルギーを利用した自立・分散型エネルギーシステムの導入による災害に強いまちづくり
- ③資源の有効活用による地球温暖化防止と循環型社会構築

3. 目標(10年後)

【バイオマス利用率】

- 未利用バイオマス:93%
エリアンサス90%、木質バイオマス72%、農作物非食部96%
- 廃棄物系バイオマス:94%
家畜排せつ物100%、生活排水汚泥87%、食品廃棄物40%、剪定枝95%、廃食用油40%

4. 地域波及効果

- ①経済波及効果 16.9億円
- ②雇用の創出 15人
- ③温室効果ガス(CO₂)排出削減量 971t-CO₂/年
- ④耕作放棄地(荒廃農地)の解消
- ⑤廃棄物の減量
- ⑥災害時の燃料供給

2. 事業化プロジェクト

- ①エリアンサス栽培プロジェクト
農業生産物資源のエリアンサスを耕作放棄地に栽培する
- ②エリアンサスペレット製造利活用プロジェクト
①のエリアンサスと剪定枝、林地残材を混合ペレット化し、市内公共施設へ燃料供給を行う
- ③もみ殻利活用プロジェクト
市内から発生するもみ殻を原料とした熱利用
- ④エリアンサスを含むバイオガス化プロジェクト
市内の食品系廃棄物や下水汚泥を活用したバイオガス発電と液肥の農業利用

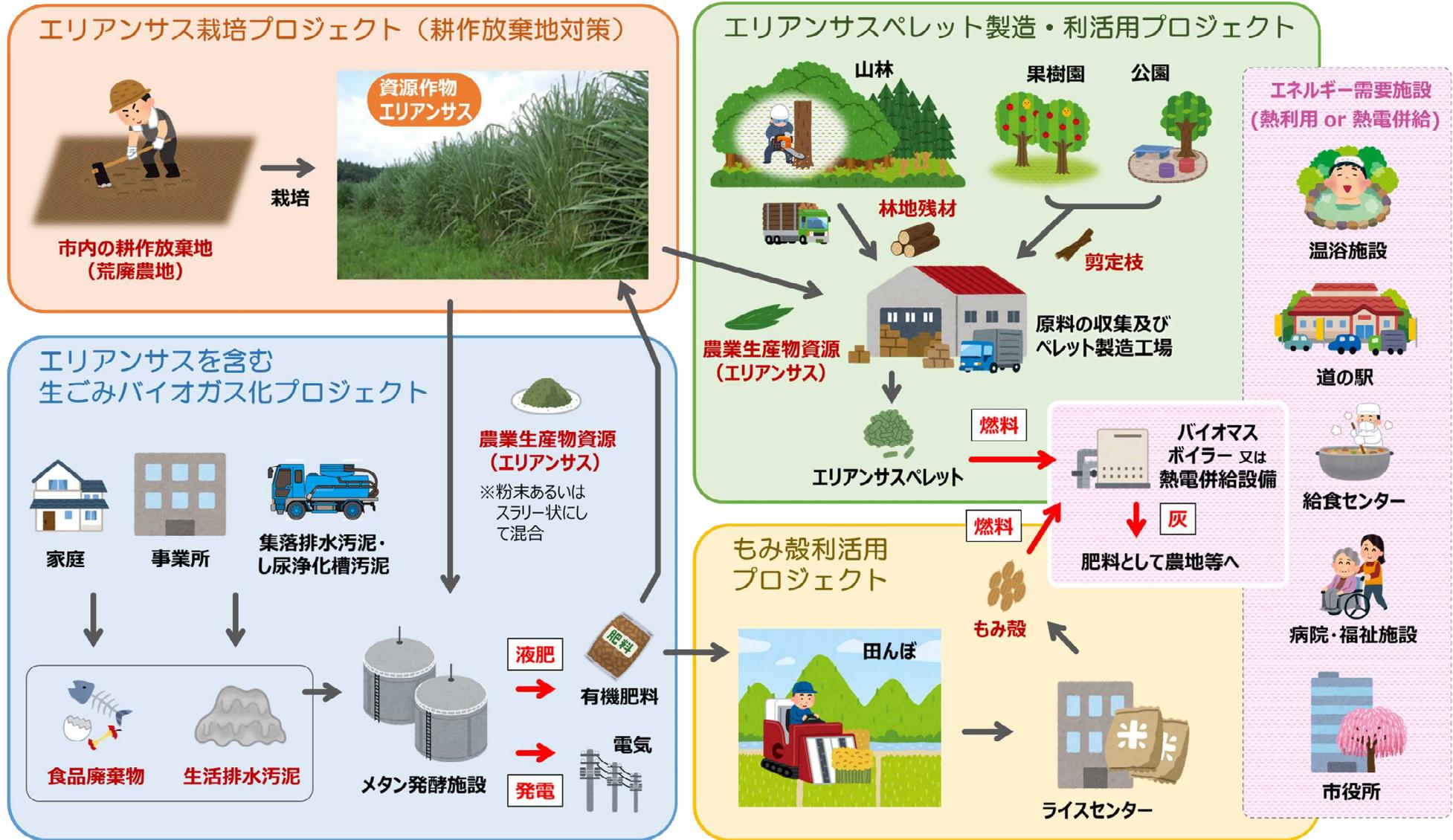
5. 実施体制

- さくら市バイオマス産業都市推進協議会(仮称)を設置
- さくら市が主体となって民間事業者・森林組合・関係機関等が連携して事業化プロジェクトを実施

6. その他

- さくら市新エネルギービジョン(2017年度)
- 第2次さくら市環境基本計画(2018年度-2027年度)

さくら市バイオマス産業都市構想 ～農業生産物資源エリアンサスを活用した地域循環型社会の構築～



【事業化プロジェクト実施に伴う効果】

- ・耕作放棄地（荒廃農地）の解消
- ・廃棄物の減量
- ・地球温暖化防止
- ・再生可能エネルギーの創出
- ・雇用の創出
- ・環境ビジネスの創出
- ・環境意識の向上や環境活動の活性化
- ・非常時における分散型エネルギーの活用